

まちづくり

Vol. 219

(H26. 4. 1)

北海道開発局都市住宅課
まちづくり相談窓口

メールニュース

今号の
記事

- 旭川市西神楽地区 冬季集住・二地域居住の取組
- 「平成26年度 歴史的風致維持向上推進等調査」に関する提案の募集
- 「まちの活性化・都市デザイン競技」実施地区の公募

まちづくりに関して紹介したい地域の取組、配信アドレスの変更等については、
まちづくり相談窓口(メールはこちら)まで

※配信希望は随時受け付けております。

各項目の○を
クリックすると
各項目見出しに
ジャンプします

旭川市西神楽地区 冬季集住・二地域居住の取組

～人口減少・高齢化に対応した民間団体によるまちづくり～

NPO法人「グラウンドワーク西神楽」は、地域に根ざした様々な活動を行う中、高齢者が住み慣れた地域に安心して暮らせるまちづくりを目指し、空き家となった民家を改修し、冬季は地域の高齢者の集住施設として、夏季は避暑のための別荘・保養施設として活用する取組を実施しています。先般、国土交通省所管「平成25年度手づくり郷土賞」を受賞しました旭川市西神楽地区の活動をご紹介します。

(平成25年度手づくり郷土賞の選定の概要については、[まちづくりメールニュースvol.207](#)をご覧ください。)

(地区の概要)

旭川市は、北海道のほぼ中央の上川盆地に位置する人口約34万8千人の中核市。旭川市内の中心市街地には、医療施設や商業施設など、生活に便利な施設が集中していますが、そこから南東部へ約10km(JRで約15分)に位置する西神楽地区は、美しい景観に恵まれた農村地域です。西神楽地区の世帯数は約1,600世帯、人口約3,500人。旭川空港の近郊に位置し、東京からのアクセスもよく、田園環境と都市機能環境が両立している地域です。



(地区の課題)

西神楽地区では、若者の農村離れや地域の高齢化が進む中で、中心市街地までの買い物や通院、冬季の除雪などの負担が大きいことから、高齢者の人口流出が続き、この20年間で人口の約25%が減少するなど、地域の活力は低下しています。また、65歳以上の高齢者が約4割と旭川市内各地域の中で最も高く、77歳以上の一人暮らしの高齢者数は約120名になります。

さらには、過疎化に伴い、適正に管理されない空き家が年々増加し、防災・防犯、衛生、景観などの面で、周辺地域に悪影響を及ぼしています。現在も西神楽地区には、再活用が可能なものも含めて66軒の民家が空き家となっています。

（グラウンドワーク西神楽の取組内容）

「グラウンドワーク西神楽」は、空き家となった民家を賃借し、冬季は独居高齢者が集まって共同生活をする「冬季集住」を実施。一日の利用料金は、2食の弁当代を含めて1,000円。この他、通院、買い物、入浴施設などへの送迎「お出かけサポート」も実施しています。集住は、本人希望のグループに分けられるため、顔なじみの高齢者同士の交流が一層深まり、夜にはカラオケや宴会なども始まります。冬季の除雪の苦労や一人暮らしの不安も解消されることから、希望者は年々増加しており、平成26年度には、集住施設となる空き家2棟の改修・建替工事を予定。完成すると集住施設は全部で6棟になります。

一方で、地域における自然の豊かさや利便性等を活かし、空き家となった民家を手頃な価格で道外の企業や個人等に買い取ってもらい、避暑のための別荘・保養施設として活用する「二地域居住」を実施。「グラウンドワーク西神楽」は、購入者に改修費用を負担してもらったかわりに、日常の草刈や清掃、夏季の菜園管理、冬季の除雪など施設の維持管理を行っています。この別荘・保養施設を新たに集住施設として利用させてもらうことで、空き家にかかる改修費用の負担をうまく転換。東京からのアクセスもよいことから、道外からの購入希望者も年々増加しています。

また、企業等が保養施設等として利用しない日を、貸別荘として活用できるように支援している他、今後は、夏季滞在者が快適な生活を送れるよう、カーシェアリング、レンタサイクルなどモビリティ確保の支援も検討しています。



集住施設内の様子（左・中）と外観（右）の写真

（取組の効果）

空き家を活用したこの取組は、まちの課題となっている空き家対策の一助になるとともに、冬季の安全な住環境があることで、高齢者が住み慣れた魅力ある地域に安心して住み続けることができます。

また、都市に住む住民にとっては、都市では体験できない農村ならではの「楽しみ」や「やりがい」のある生活に触れることができるため、都市から農村への移住体験ができます。

今後は、まちの観光や企業誘致も積極的に実施し、都市との交流が深まることで、より一層の地域の活性化に繋がることが期待されます。



平成26年3月6日 平成25年度「手づくり郷土賞」認定証伝達式の様子

「平成26年度 歴史的風致維持向上推進等調査」 に関する提案の募集について

国土交通省では、良好な景観や歴史的まち並みの形成の推進を図るため、「平成26年度歴史的風致維持向上推進等調査」を実施します。

今回、本調査に関する提案の募集を以下のとおり行いますので、お知らせします。

【調査の概要】

良好な景観や歴史的まち並みの形成における資金面、人材面、技術面等の共通課題に対応した取組の提案を募集し、優れた取組提案を選定して国の委託調査として実施します。

●応募主体

[1]地方公共団体

[2]地方公共団体を構成員に含む団体（協議会等）

[3]歴史的風致維持向上支援法人、景観整備機構又はその他の地域活性化に取り組む団体（提案について地方公共団体の推薦が必要）

※法人格のない任意の団体については団体の規約の有無等の要件有

●提出期間

平成26年4月11日（金）から4月17日（木）17：00まで

●募集内容

下記の良好な景観や歴史的まち並みの形成における共通課題に対応する取組の提案

○民間資金の導入による町家等の歴史的建造物の修理・活用等の促進

○広域的な歴史まちづくりの専門家組織の育成

○伝統工法と現代工法の組合せによる歴史的建造物保全システムの構築

●委託経費

1件あたりの調査経費の上限額は原則700万円程度

※ 調査の詳細及び応募書類については、[国土交通省HP](#)からご覧ください。

※ 平成24年度歴史的風致維持向上推進等調査の実施状況は[こちら](#)です。

※ 平成25年度歴史的風致維持向上推進等調査の実施状況の概要は[こちら](#)です。

提案公募

歴史まちづくり等の共通課題に対応する地域の取組を公募

民間資金導入による町家等歴史的建造物の修理・活用等促進



地域組織が一旦町家等を借り上げ、短期で貸し出す取組（期間限定サブリース）を実験的に先行事業採算性を検証【奈良県】

歴史まちづくりの専門家組織の育成



歴史的建物修繕を実習する高校生課外授業を実施し、人材育成効果を検証【兵庫県たつの市】

伝統工法と現代工法の組合せによる歴史的建造物保全システム構築



市販材を使った下地での土壁塗りなど、現代の流通材で実施できる伝統工法を研究し、実験によりその実現性を確認【福島県白河市】

上記事例は全て平成24年度における歴史的風致維持向上推進等調査事例です。

評価選定

有識者委員会で評価し、優れた取組提案を選定

調査実施

選定された取組を国が地方公共団体、地域組織等に委託して実施

成果活用

成果を全国に共有することで歴史まちづくり等の地域の取組を推進

「まちの活性化・都市デザイン競技」実施地区の公募

～まちづくりに全国から知恵を募集してみませんか～

まちづくり月間全国的行事実行委員会と（公財）都市づくりパブリックデザインセンターは、「まちづくり月間※1」行事の一環として実施する第17回「まちの活性化・都市デザイン競技」（国土交通省後援。以下、コンペと呼ぶ）の実施地区を公募していますので、お知らせします。

※1 国土交通省では、昭和58年から毎年6月を「まちづくり月間」と定め、様々な行事を実施しています。

●目的

公募により選定された実施地区に関するまちづくりの課題について、地域にふさわしい整備構想とまちのデザインについての提案を広く一般から募り、まちづくりに対する国民の関心を高めるとともに、活力ある美しい景観を備えたまちづくりの実現に寄与することを目的としています。

●コンペの内容

- ① 全国から競技にふさわしい実施地区を公募します。
- ② 実施地区に選定された場合、地区の実情に応じて、計画の概念づくりから施設デザインまで、様々な課題を設定していただきます。
- ③ 設定したまちの課題について、全国様々な方々からアイデア※2を募集します。
- ④ 優れた作品には国土交通大臣賞ほかの表彰を行います。

※2 提案されたアイデアは、対象地区のまちづくり計画等の中に反映することができ、これまでに実施した地区においても大いに活用されています。

また、コンペの実施に係る費用等は、基本的に主催者が負担します。

但し、下記の点において地元の協力をいただきます。

- ① 応募要領の作成補助（地区の現況・課題等の整理、競技テーマの設定等）
- ② 応募者現地説明会の会場提供（100人規模）と説明資料等の準備、現地案内等
- ③ 審査委員現地視察会の会場提供（会議室）と説明資料等の準備、現地案内等
- ④ 審査委員会（東京で開催）への出席（市長他の旅費）
- ⑤ 市長賞の創設（任意です）・・・表彰状、副賞（賞金、記念品など）の準備と授与

●公募期間

平成26年6月27日（金）まで

※詳細な応募要領等は、[\(公財\)都市づくりパブリックデザインセンターHP](#)をご覧ください。

※第16回（福井市）の結果については、[こちら](#)をご覧ください。